

●とびっくす●

全国大会佐賀大会に参加して

徳島支部 高見隼也/末國明宏

今回は、建築士会全国大会佐賀大会の報告をしたいと思います。

私たちは「まちづくり交流プラザ」の展示に手を挙げたため、10月21日の早朝に展示物（パネル、模型）を車に乗せ、出発しました。佐賀に着いたのは15時30分頃でした。それから会場となる佐賀県総合体育館に向かい、展示ブースでの設置を終え、17時から前夜祭となる「全国建築士フォーラム」に参加しました。会場に入る時に、13個ほどの各県の建築士会の活動内容のパネルから興味のあるものを各自が選び、そのテーブルに座ってフォーラムは始まりました。私は愛知県建築士会の「けんちくしてなに!？」というテーブルに座りました。これは小学生の高学年を対象に「建築士」の認知度を向上させることを目的とした活動です。前年の活動は、放課後の課外活動の時間を利用して、厚紙で50cm角くらいの大きさの簡単な建築物を5,6人のグループで作りました。まず柱としては何本、壁としては何枚使用してもよいなど、約束事を決めます。その後は自由に、子供たちが自分で考えて造形します。最後に出来上がった造形物の上に子供が乗り、壊すことで柱や壁の配置の仕方で強度が変わってくることを実感してもらいます。アンケートで、将来になりたい職業に「けんちくし」と100人中3人が書いたそうです。小学生に建築の「おもしろさ」を伝えるのはむずかしいと思いますが、愛知県ではこのような活動がされています。

また、私の座ったテーブルには北は秋田県から、南は沖縄県から参加されており、他県の人との活発な話し合いができ、良い刺激を受けました。今回、全国大会に参加して本当に良かったと思っています。（高見隼也）



まちづくり交流プラザの様子

佐賀大会メイン会場に設置された「まちづくり交流プラザ」に「ひょうたん島プロジェクト」と題し、平成18年度より行われている“ひょうたん島・景観まちづくり事業”のパネル展示をさせていただきました。

県外出身者の私たちにとって、徳島市中心部に位置するひょうたん島の景観・まちづくりを考えるこの事業は、徳島を知り魅力を発見できる良い機会となっています。その発見したひょうたん島の景観・回遊性・親水性などの魅力を伝えるべく、パネル展示では、平成18年度“ひょうたん島・景観まちづくり事業”から、今年度進行中の“ひょうたん島プロジェクト2010”の活動概要をまとめました。パネル制作では不慣れな点が多くあり、メンバーの皆さまに温かい御指導をいただきながら入稿日前夜まで作業を行い、完成したころには朝日が迎えてくれました。しかし、その苦労の甲斐あって、納得のいく良いものができたと満足しております。

そして佐賀大会当日、まちづくり交流プラザには地元大学や高校の生徒も展示を行っており、多くの参加者で賑わっていました。人気投票では100を超える投票をいただき、多くの方がブースに足を運んでくださりました。また、会場内を回るカメラを前に展示内容を説明行うなど、緊張する場面もあり、大変貴重な経験をさせていただきました。

佐賀大会では県内外の方々との交流をする機会が多くあり、建築士会1年目の私たちにとっては大変充実した時間となり、皆様の温かさを感じた4日間でもありました。今後とも宜しくお願いいたします。（末國明宏）



フォーラム会場の様子

ひょうたん島八景

その4

徳島支部 矢部洋二郎

八景式という景観鑑賞法

「人気投票による八景候補」の客観性について、注意しておくことがあります。それは、いずれの投票もイベント調査によるものであることから、晴天の、昼間の景観を対象としていることです。景観を鑑賞する立場からすると、晴れの日の昼間というのは特色が少なく、写真に撮ってもあまり面白い写真にならないことを体験した人は多いでしょう。

いまでは無くなりましたが、天神祭の花火が上がっている藍場浜公園一帯の美しさを例にあげれば、「晴れた昼間」よりもすばらしい景観となる時間帯があることをわかってもらえると思います。

また、夏の桜木よりも春の桜を好むもので、ひとつの景観の評価も、季節により大きく変化するのです。

こうした理由により、いままでの投票だけを根拠とした八景選定では充分でないことがわかります。

以上のことは、次のように整理されています。

「八景式という景観鑑賞法の特徴は、優れた景色を八つ選べばよいというのではなく、

- 1 美的体験を与える鑑賞地点をまず発見し、
- 2 そこでの体験をさらに高める条件や体験方法、すなわち、季節、時刻、気象、事物（天象・動物・植物ほか）など、景観を魅力的にする演出条件や、視覚的な楽しみ方や聴覚的な楽しみ方などを、あれこれ求めるところにあります。

景観用語事典」

つまり、晴れた昼間のイベント調査で候補としたのは、1にあたることを確認しておくことです。

近江八景

具体例として、室町時代後期、日本で最も初期の八景とされる近江八景が参考になります。琵琶湖南部の景勝地から選定されています。

石山秋月	いしやまのしゅうげつ	石山寺
瀬田夕照	せたのせきしょう	瀬田唐橋
粟津晴嵐	あわづのせいらん	粟津松並木
矢橋帰帆	やばせのきはん	矢橋港
三井晩鐘	みののばんしょう	三井寺
唐崎夜雨	からさきのやう	唐崎神社
堅田落雁	かたたのらくがん	堅田浮御堂
比良暮雪	ひらのぼせつ	比良山系

前二文字が場所、後ろ二文字が季節・時刻・気象などを表している。時間帯では、晴れた朝から昼は「粟津晴

嵐」であり、他は夕方から夜となっています。



後ろ二文字の意味を整理しておきます。①落雁（秋に雁が隊列を組みながら飛び来たり飛び去る姿）②帰帆（夕刻に船が湊に戻ってくる様子）③晴嵐（晴れた日の霞や露、あるいは青葉の頃に吹く薫風）④暮雲（夕暮れ時の雪景色）⑤秋月（秋の夜空に冴える満月を望む様子）⑥夜雨（夜に降るしめやかな雨の情景）⑦晩鐘（寺鐘の鳴り渡る暮れ方の風景）⑧夕照（ものがみな茜色に染まる美しい夕映えの風景）景観用語事典。

ひょうたん島八景へのスタンス

全国で1,000をこえる八景の中には、選定が定型化して、後ろ二文字を固定しておいて、それにふさわしい場所を選定するという手順と思われるものも多いようです。それは、八景式が本来持っている、ある地域の景観の総体から、地域を代表する八つの景色を抽出するという良き特徴が変形しているように思われます。そこで、左側中段の1と2の順序を守りたいと考えました。後ろ二文字、つまり2の部分の可能性は、体験する人の数だけ無限にあるはずですから。

さらに、後ろ二文字の言葉に託されているイメージの豊かさについて、秋の講演会（2009年11月29日）で東工大・齋藤潮教授は雨の例を引いて、「そもそも我々は雨の呼称をどれだけ持っているか。例えば、春雨、五月雨、夕立、霧雨、時雨、氷雨という呼称があります。小糠雨、篠突く雨、俄雨、通り雨、長雨という呼称があります。」ということを示された。「雨」という一つの言葉に、これだけたくさんのイメージを託しているのだから、同じ場所を何度も訪れて味わい、言葉を選ぶことが大切だということです。

そして、八景発祥の地である中国の瀟湘八景は名勝・洞庭湖あたりの風光明媚な景勝地から選んでいることから、21世紀の徳島市中心部で選定する場合には、後ろ二文字を固定する必然性に乏しいと思いました。現代のひょうたん島の都市景観では、少なくとも「落雁」が現れること、それを探すことはなかなか難しいという事情もありますから。

このようなわけで、2については、その場所にふさわしいものを「あれこれ求める」ことにしたのです。

一つづー

●支部だより●

V I V A F U T S A L

徳島支部 吉兼 佳輔

はじめまして、徳島支部の吉兼です。すっかり秋も深まって今年も後わずかとなりましたが皆様どのようにお過ごしでしょうか。私は日ごろの運動不足を解消しようと、10月17日とくぎんトモニプラザで行われた、建築士会恒例のフットサル大会に参加してきました。フットサルとは、まあおおまかに言うとサッカーとほぼ同じスポーツです。

と言うわけでその様子を簡単に報告させていただきます。



建築士会+お子様、約20名が参加しました。

前半は1チーム5人、

チーム★すだち★

坂東さん・藤高さん・桜木さん・桜木 j r ・南さん

チーム●源太郎●

豊田さん・中山さん・後藤さん・後藤 j r ・真鍋さん

チーム▲渦潮▲

田野さん・松尾さん・竹内さん・竹内 j r ・小松さん

チーム■酒屋■

吉兼・赤尾さん・福田さん・桜木 j r ・河村さん

と言う具合に分かれて、一試合8分間、走って、こけて、ボール蹴って、色々あって・・・

見事、TEAM SAKAYAが優勝しました。



その後、伝統の一戦みたいな感じで、徳島支部 V S 他支部連合で試合をしました、お互い一歩も引かない試合の結果は、たしか徳島支部の勝利でした。



そんな感じで皆さん怪我も無く無事に終了してよかったです、お疲れ様でした。休日の朝からスポーツをするというのは非常に気持ちが良い、交流も持てて楽しかったです。

今回企画準備していただいた皆さんご苦勞様でした。

「次回も是非参加したいです！」

おしまい



支部釣り大会

阿南・那賀支部 グレ太郎

暑い暑い夏も終わりに近づき、まだまだ残暑が残る頃、しばらく何年かお休みしていた阿南・那賀支部の釣り大会のハガキが届きました。フムフム今年はどこですかいな！。10月3日曜日.. ふ、ふくむら〜。。チヌ釣りか〜.. 長いこと行ってへんがな。というか県釣連盟の大会しか行ったことがない。やめとこー・・・かくして当日、少し雨模様。雨の中での釣りはやりにくい。眼鏡は曇るし道糸は竿にへばりつく。遠投でもしよう物ならビューっと竿が鳴るも仕掛けは足下にポチャ！おまけに後から針に付けたはずのオキアミがポチョ！泣きなくなる。弁当を食べるも雨が入るし、昼寝も出来ない。なのでなるべくなら雨降りは避けたい。昼からは嵐のようになってきた。こらほんまにいかんでよかったのかも。そんなことを思ってから数日後、「釣り大会行けへんで〜！」と、なかば強制的に聞こえるお誘いの電話。えっ、この前中止やったんか？。「そうよ前の晩に船頭さんから中止って言ってきたんよ〜」「ほなけん今度17日にするけん一、来てよ〜」うっ言葉の調子が“絶対に！”ってゆうとる。「しばらく考えて電話するわ。」とは言ったものの折角ここまでお世話してもらって申し訳ないと思う気持ちもあり参加することになりました。不況の影響か釣大会の参加者も年々減ってきました。中止している支部も有るようです。全県で開催して世話を持ち回りというのも有りかなと思いました。



「磯魚“グレ”」

福村磯は、歴史が古く昔からチヌ釣り場として有名です。阿南市の那賀川河口の沖合に大小様々な磯が点在します。渡船は、以前は王子製紙横の古い漁港から出てい

ましたが、今は新しくできた淡島漁港から出ています。ここから渡船に乗るのは初めてですが車から近く便利になりました。出港の前に磯の抽選です。くじ番は忘れましたがとりあえず2番磯に上がることにします。グレ釣り師の性で解らない場所ではとりあえず沖の磯に上がります。磯に上がると、思ったより風が強い。前の1番磯には3人が上がっている。こちらは何も当たらないのに1番磯ではなにやら釣っている。焦るな〜。あれこれ仕掛けをいじってみても当たりなし。釣れんのに寒いとこで我慢することなしと弁当船で磯代わり。次は進められるままにびしゃの大東に。ここは暖かい！風がないし日当たりがいい。弁当も旨いしこれで釣れたら言うことなしやな〜なんて思いながら押っ取り刀で釣り始めました。しばらく撒き餌をしてると15cm位のアジが釣れだしました。計量にはかからんけどお土産には喜ばれる魚です。小アジのにぎりは旨いな〜と頭の中ではもう料理が出来上がっています。順調に晩飯のおかずを釣ってると何やら潮の動きが怪しい。こんなもん釣ってる場合ではないと仕掛けを作り直し磯釣り仕様に変えたとたん、そこそこの30cmオーバーのグレが釣れました。こうなるとスイッチが入ります。次に35cm位のイサギが、ここでイサギのこのサイズにお目にかかれるとは驚きました。その後も小さいながらもグレが順調に竿を曲げてくれました。港に帰って計量、表彰と進み3位となりました。1位は9kgとたくさん釣っていました。天気も良くて来て良かったと思いました。役員の方には前日からいろいろ大変だっただろうと感謝しています。



集合写真

ベネッセアートサイト犬島見学会

徳島支部 岩谷 久美

瀬戸内海の島を舞台に「瀬戸内国際芸術祭2010」が開催されたため、今年の見学会はここに集中したようです。季節はずれの台風がやってきた10月30日。女性部の見学会も「犬島」です。この話題、「まちかど」3ヶ月連続登場ですね（笑）。



▲チャーター船でミニクルーズしての上陸です

「犬島」の特徴はベネッセアートプロジェクトとしてはアーティスト柳幸典の作品のみの島だということです。ここでは、一人の作家の多面性を見ることができます。

「精錬所美術館」は日本の近代化・工業化をテーマに三島由紀夫をモチーフとしたインスタレーションの展開です。旧三島家の建具などを利用した作品が展示されています。わたしのお気に入り、最初に登場する通路と鏡の体感型作品。一本道に見える真っ暗な迷路を、鏡に写った光の出口を目指して歩きます。

冒険心で、ドキドキワクワクできます。

11月号の「まちかど」で丹波さんのこの作品への感想を拝見して、多様な発想をインスパイヤしてくれる現代アートの面白みを感じました。

同じ11月号の岩本さんや、10月号の島津さんの感想も自分と同じような思いで、なんだかうれしくなります。

犬島に行ったら、美術館を出たところにあるCAFE横のトイレは是非ご利用下さい。

このトイレ、個室の隣との壁が30cmほど手前で終わっています。

行こうと思えばお隣のトイレに入っていきます。

なかなかシュールな気分になれますので……。

元資材置き場も含めた近代化産業遺産エリアは、まるでジブリアニメの「天空の城ラピュタ」に迷い込んだみたいです。

今にも、ロボット庭師が花を持って歩いてきそうです。

ここは、以前は廃墟マニアの人気スポットで、西部警察

のロケに使われた場所でもあるそうです。

今年7月より公開された犬島「家プロジェクト」で、印象深かったのは、S邸「蜘蛛の網の庭」。

厚いアクリルで作られたスペースの中に、3本の矢が突き刺さった細かい網目のレースが吊り下げられており、真ん中には1ドル札が浮かび上がります。天井付近にいる無数の生きた蜘蛛も作品の一部です。

……現代作家の考えることは不可思議です。

個人的には、このプロジェクトのプロデューサー福武財団の総師「福武総一郎」氏にとっても興味を持ちました。経営者の感覚で、みごとな地域再生プロジェクトをやっています。

瀬戸内国際芸術祭2010の最大の課題は「赤字をださないこと」だそうです。

たぶんクリアされたでしょう。



▲さすが御影石の島です御影石を利用した木の物干し台がありました。

女性部からのお知らせ

■木造・2級建築士授与式

平成23年1月21日（金）10:00～県庁602

お手伝いいただける方は佐々木部長までお申し出ください。

■定例会・学習会のご案内

平成23年1月22日（土）

これまでの事業報告・反省&今後の計画をお茶とお菓子をいただきながら話し合います。

●士会だよりー本部●

応急危険度判定士資格認定講習会のお知らせ

徳島県では、次のとおり「徳島県地震被災建築物応急危険度判定士資格認定講習会」を開催します。

講習対象者は、徳島県内に在住又は勤務し、次のいずれかに該当する方です。

- ・新規に判定士の登録を希望する建築士
- ・平成17年3月31日以前に登録した判定士
- ・平成17年度登録の判定士
- ・県・市町村に勤務する建築・土木技術者

開催日時：平成23年1月27日(木)午後2時～4時30分

開催場所：徳島県建設センター7階

申込先：徳島県建築士会(電話 088-653-7570)

徳島県県土整備部建築開発指導課
(電話 088-621-2595)

申込期日：平成22年11月22日(月)～23年1月15日(金)

※受講料は不要です

●士会だよりー本部●

『県ユニバーサルデザインによるまちづくり賞』

応募施設現地調査の参加者募集

- ・調査内容 徳島県のユニバーサルデザインのまちづくり賞に応募された建物について、現地で条例などに照らし合わせ、客観的なチェックを行います
※経験済みのバリ研メンバーと一緒にいきます
- ・調査・まとめ 現地調査内容(条例チェックリスト、ヒアリング、写真撮影など)を簡単な報告書にまとめます
- ・調査・まとめ 共、1月中に行います
- ・調査費 若干ですが費用が出ます。本当に若干です！

・申込み締切 平成22年12月31日まで

・申込み・問合せ先

佐藤賢治 TEL 088-623-3502 FAX 623-8267

中村正則 TEL 088-622-7639 FAX 622-7665

建築士会本部行事案内 平成22年

12月	1月
1日 一日会 (士会会議室)	5日 新年あいさつ・一日会
2日 二級・木造建築士合格発表	12日 建築相談 (士会会議室)
7日 委託業務検討委員会 (士会会議室)	19日 建築相談 ()
8日 建築相談 ()	21日 二級建築士免許証交付式 (県庁602)
9日 事業研修委員会 ()	27日 応急危険度判定士資格認定講習会 (建設センター)
9日 地域貢献委員会 ()	
15日 建築相談 ()	
15日 セビア ()	
16日 一級建築士合格発表 (士会会議室)	
16日 財務委員会+公益法人改革委員会 (大阪市)	
17日 定期講習業務連絡会議 (建設センター)	
18日 常任理事会・理事会	
28日 仕事納め	

●士会だよりー徳島支部●

スキーツアーのご案内

恒例のスキーツアーを企画しております。徳島支部以外の方でも参加頂いて結構です。多くのおみなさまのご参加をお待ちしております

スキー場 兵庫県 ハチ北スキー場

日時 平成23年2月5日、6日(土、日)

※出発時間は2月5日(土)の早朝2:00頃になります。

悪しからずご了承ください

宿 泊 マウンテンリゾート 弥生(夕食・朝食付)

※夕食はすき焼き?

住 所 兵庫県美方郡香美町村岡区大笹991

(TEL 0796-96-0321 FAX 0796-96-0242)

参加費 20,000～25,000程度

(リフト券・貸しスキーなどは別途)

※参加人数により変動します。小学生以下の子供さんは少しですが配慮したいと思います。

申込先 徳島支部 西条まで

(TEL 088-653-7570 FAX 088-624-1710)

申込〆切 平成23年1月22日(土)

●士会だよりー女性部●

LED光の道イルミネーション 景観と防犯のための公園

2010年12月5日[日]～25日[土](期間限定になります)

場 所 徳島市昭和町公園(徳島市中昭和町2丁目4番)

点灯時間 午後6:30(日没)～11:30

主 催 (社)徳島県建築士会LEDクラブ

共 催 (社)徳島県建築士会女性部 中昭和町1,2丁目自主防災会

編集後記

◆一時間早く来たのに始まりが遅かった。。。 (ハリー)

◆籠の鳥だったけん。。。 (源十二郎)

◆もういけんわ。やめられまへん。 (酎西)

◆まちかどは来月700号やしい～。 (ひとはたうさぎ)